科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX557／行政学2 (Public Administration 2)		
担当者名 (Instructor)	原田　久(HARADA HISASHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX3010	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

この授業では，受講生が興味深い行政現象を記述し分析する能力を身につけることを目標とする。

The objective of this class is to have the students develop the ability to describe and analyze interesting administrative phenomena.

授業の内容(Course Contents)

行政学は，「有権者」としての視点(制度論)，「納税者」としての視点(管理論)，及び「消費者」としての視点(政策論)という 3 つの視点から行政現象に複眼的にアプローチする学問である。このうち行政学 2 では，上記アプローチに対応した 3 つのパートのうち，管理論の一部及び政策論を取り上げる。各パートでは，行政現象についての興味深いパズルを設定した後(1 週目)，これを分析する(2 週目)。

なお，できる限り行政学 1 を修得しておいてほしい。また，受講にあたっては，過去の授業評価アンケート結果を参考にすること(http://www2.rikkyo.ac.jp/web/haradahi/)。

Public Administration is an academic discipline which uses a multifaceted approach to administrative phenomena from the perspectives of the "voter" (institution theory), "taxpayer" (management theory), and "consumers" (policy theory). Public Administration 2 will cover part of management theory and policy theory from the three perspectives in the approach described above. In each part, an interesting puzzle concerning an administrative phenomena will be configured (week one) and then analyzed (week two).

Furthermore, please note that students are asked to take Public Administration 1 in combination with this course. In addition, students are asked to refer to past class evaluation surveys when taking this course (http://www2.rikkyo.ac.jp/web/haradahi/).

授業計画(Course Schedule)

1. 行政学入門 1：行政学の体系(何を学ぶのか？)
2. 行政学入門 2：行政学の方法(どうやって学ぶのか？)
3. 管理論 3：所掌事務管理論―共管事務は省庁再編後もなぜ増大したのか？　前編
4. 管理論 3：所掌事務管理論―共管事務は省庁再編後もなぜ増大したのか？　後編
5. 管理論 4：情報資源管理論―統計不正問題はなぜ発生したのか？　前編
6. 管理論 4：情報資源管理論―統計不正問題はなぜ発生したのか？　後編
7. 政策論 1：政策課題設定過程論―こんにゃく入りゼリーはなぜ規制されたのか？　前編
8. 政策論 1：政策課題設定過程論―こんにゃく入りゼリーはなぜ規制されたのか？　後編
9. 政策論 2：政策決定過程論―パブリック・コメント手続はなぜ機能しないのか？　前編
10. 政策論 2：政策決定過程論―パブリック・コメント手続はなぜ機能しないのか？　後編
11. 政策論 3：政策実施過程論―生活保護世帯はなぜ急増したのか？　前編
12. 政策論 3：政策実施過程論―生活保護世帯はなぜ急増したのか？　後編
13. 政策論 4：政策評価過程論―政策評価は政策の見直しになぜつながらないのか？　前編
14. 政策論 4：政策評価過程論―政策評価は政策の見直しになぜつながらないのか？　後編

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

講義の進行によっては反転授業を取り入れたい。反転授業にあたっては課題を出す予定である。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(100%)

テキスト(Textbooks)

1. 原田　久、2022、『行政学〔第 2 版〕』、法律文化社 (ISBN:4589041951)

参考文献（Readings）

1. 森田朗、2017、『新版　現代の行政』、第一法規 (ISBN:4474057198)
2. 真渕勝、2020、『行政学』、有斐閣 (ISBN:4641149356)
3. 曽我謙悟、2013、『行政学』、有斐閣 (ISBN:4641124833)

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

注意事項（Notice）